

2026年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社cotta 上場取引所 東 福  
コード番号 3359 URL <https://www.cotta.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒須 綾希子  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 後藤 眞二郎 TEL 0972-85-0117  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	4,340	44.3	339	30.7	334	33.7	181	16.0
2025年9月期第1四半期	3,008	8.0	260	6.4	250	13.6	156	20.8

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 185百万円 (15.2%) 2025年9月期第1四半期 161百万円 ( 18.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	17.22	
2025年9月期第1四半期	14.64	

(注) 1. 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。  
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。  
3. 2024年10月1日に行われた株式会社TERAZとの企業結合について、暫定的な会計処理を行ってりましたが、前連結会計年度に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴う金額の変動はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	10,737	4,586	42.2
2025年9月期	10,642	4,465	41.5

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 4,532百万円 2025年9月期 4,415百万円

(注) 2024年11月15日(みなし取得日: 2024年12月31日)に行われたワークス・グループとの企業結合について、暫定的な会計処理を行ってりましたが、2026年9月期第1四半期連結会計期間に確定しております。2025年9月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期		0.00		10.00	10.00
2026年9月期					
2026年9月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 9月期の連結業績予想(2025年10月 1日～2026年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,109	10.5	812	8.6	830	11.1	477	9.1	46.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。  
2. 対前期増減率は、2026年9月期第1四半期連結会計期間において行った企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を反映した遡及修正後の数値で算出しております。

## 注記事項

### (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社COWA

(注)当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社COWAは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。また、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社TUKURUは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

### (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期1Q	11,223,513 株	2025年9月期	11,223,513 株
期末自己株式数	2026年9月期1Q	640,464 株	2025年9月期	723,864 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年9月期1Q	10,527,751 株	2025年9月期1Q	10,681,970 株

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、この数字に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結範囲の重要な変更に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(企業結合等に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間（2025年10月1日～2025年12月31日）（以下「当四半期」という。）における我が国経済は、全体としては緩やかな回復基調が続きましたが、物価上昇の継続による個人消費の伸び悩み、原材料価格の高止まりや物流費の高騰等、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような状況の中で当社グループは、業界の成長が鈍化傾向にあることを踏まえ、更なる成長のために異業種への展開を推進しております。前連結会計年度に連結子会社化した株式会社T E R A Z及びワークス・グループに向けて、これまで培ってきたノウハウを投入することで更なる成長の原動力を加え、外的要因の変化に対応出来るグループ体制に強化することを目指しております。

また、既存事業に関しても、次のステージに向けた新たな挑戦を引き続き推進しております。小規模菓子店のDX化を支援するサービス「Urico」の始動や、BtoB向けの大規模展示会「cottaビジネスフェア」の継続開催に加え、2026年3月にはcotta初の実店舗を東京・大井町にオープンする予定であります。実店舗では菓子やパンも販売する予定で、より多くの人にcottaの魅力を分かりやすく伝えるべくオープン準備を推進しております。

当四半期においては、ハロウィンやブラックフライデー、クリスマスといった季節イベントがあり、それらに向けたマーケティング施策が功を奏したことにより、既存事業の業績は堅調に推移いたしました。連結子会社化した株式会社T E R A Z及びワークス・グループの業績も好調に推移して着地いたしました。

以上の結果、当四半期の業績は、売上高4,340,270千円（前年同四半期比44.3%増）、営業利益339,892千円（同30.7%増）、経常利益334,869千円（同33.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益181,298千円（同16.0%増）となり、増収増益を達成いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### <菓子・パン資材及び雑貨等の販売事業>

菓子・パン資材及び雑貨等の販売事業は、当社及び連結子会社4社により構成されております。主な販売先は個人経営の和洋菓子店及び一般消費者であり、当社のインターネット通販サイトを介した販売や生協の会員向け通信販売への企画提案型の商品販売等、様々な販売戦略を展開しております。

当四半期におきましては、本業のビジネスターゲットをこれまでの「作る人」から「食べる人」へと広げる取組みにも注力して参りました。美味しいスイーツを食べたいと思う全ての人がビジネスターゲットとなれば、市場は格段に広がるものと考えております。主力のEC事業を支えるcotta公式アプリのダウンロード数は25万人を超え、常に繋がる顧客層は着実に増えて参りました。

以上の結果、菓子・パン資材及び雑貨等の販売事業全体としての売上高は2,834,318千円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益は310,545千円（同12.2%増）となりました。

#### <人材ソリューション事業>

人材ソリューション事業は、株式会社T E R A Zにより構成されております。同社では、リモート案件特化型の自社サイト「Remoters Freelance」、「Remoters Career」を運営し、システムエンジニアリングサービス事業を展開しております。

当四半期におきましては、新規入社営業社員を早期に戦力化出来たため、契約案件数の最大化に繋がり業績を順調に推移させることが出来ました。また、今後を見据え高ランクのエンジニア人材を確保する取組みにも注力して参りました。

以上の結果、人材ソリューション事業全体としての売上高は326,333千円（前年同四半期比24.0%増）、セグメント利益は12,187千円（同354.6%増）となりました。

#### <美容関連用品等の販売事業>

美容関連用品等の販売事業は、ワークス・グループにより構成されております。同グループでは、全国的美容業界の業務運営に必要なあらゆる資材・機材を、自社のカタログ経由で商品提供する理美容室業界特化型のビジネスを展開しております。

当四半期におきましては、前連結会計年度末にリニューアルしたECサイトに関して、マーケティング機能の拡充等を実施し、顧客へのアプローチ強化や購買体験の満足度向上を図って参りました。また、競合との差別化に向けたPB商品のリブランディングも推進しております。

以上の結果、美容関連用品等の販売事業全体としての売上高は1,146,871千円、セグメント利益は37,008千円となりました。なお、美容関連用品等の販売事業に係るセグメント情報等は、前第2四半期連結会計期間より作成し

ているため、当四半期における前年同四半期比は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、10,737,748千円となり、前連結会計年度末に比べ95,303千円増加しました。これは、主に、棚卸資産が117,740千円減少した一方で、受取手形及び売掛金が202,392千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、6,151,367千円となり、前連結会計年度末に比べ25,693千円減少しました。これは、主に、支払手形及び買掛金が120,828千円増加した一方で、長期借入金（1年内返済予定を含む。）が141,107千円減少、未払法人税等が83,723千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、4,586,380千円となり、前連結会計年度末に比べ120,996千円増加しました。これは、主に、配当金106,497千円を計上した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益181,298千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月14日に発表いたしました通期連結業績予想についての変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,539,764	2,495,476
受取手形及び売掛金	665,960	868,353
電子記録債権	13,650	25,292
棚卸資産	2,596,299	2,478,559
その他	411,718	515,472
貸倒引当金	△1,850	△2,220
流動資産合計	6,225,544	6,380,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	769,589	767,820
土地	392,744	392,744
その他（純額）	230,693	255,103
有形固定資産合計	1,393,028	1,415,667
無形固定資産		
のれん	1,150,354	1,124,859
顧客関連資産	1,312,120	1,289,101
その他	242,511	195,419
無形固定資産合計	2,704,986	2,609,379
投資その他の資産	318,885	331,766
固定資産合計	4,416,900	4,356,814
資産合計	10,642,444	10,737,748

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,088,071	1,208,900
電子記録債務	38,043	44,093
短期借入金	1,210,000	1,210,000
1年内返済予定の長期借入金	484,878	454,529
未払法人税等	190,100	106,377
契約負債	13,590	11,207
賞与引当金	43,264	14,672
その他	433,123	544,707
流動負債合計	3,501,072	3,594,486
固定負債		
長期借入金	2,200,140	2,089,382
株式給付引当金	22,525	22,525
退職給付に係る負債	18,392	19,008
繰延税金負債	374,651	371,733
その他	60,278	54,230
固定負債合計	2,675,988	2,556,880
負債合計	6,177,061	6,151,367
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	665,119	665,119
資本剰余金	638,287	646,006
利益剰余金	3,448,922	3,523,723
自己株式	△336,605	△302,208
株主資本合計	4,415,723	4,532,641
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	112	—
その他の包括利益累計額合計	112	—
新株予約権	612	612
非支配株主持分	48,935	53,126
純資産合計	4,465,383	4,586,380
負債純資産合計	10,642,444	10,737,748

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,008,061	4,340,270
売上原価	2,087,837	3,066,613
売上総利益	920,224	1,273,656
販売費及び一般管理費	660,156	933,764
営業利益	260,067	339,892
営業外収益		
受取利息	89	247
協賛金収入	2,891	2,397
電力販売収益	1,679	1,651
為替差益	2,343	2,062
その他	2,495	2,226
営業外収益合計	9,499	8,585
営業外費用		
支払利息	5,360	12,180
シンジケートローン手数料	13,000	500
電力販売費用	667	649
その他	37	278
営業外費用合計	19,066	13,608
経常利益	250,500	334,869
特別利益		
固定資産売却益	6,205	—
その他	49	—
特別利益合計	6,255	—
特別損失		
固定資産除却損	—	53,673
特別損失合計	—	53,673
税金等調整前四半期純利益	256,755	281,195
法人税、住民税及び事業税	86,428	89,624
法人税等調整額	9,305	6,081
法人税等合計	95,733	95,705
四半期純利益	161,021	185,490
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,683	4,191
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,338	181,298



## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	161,021	185,490
四半期包括利益	161,021	185,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,338	181,298
非支配株主に係る四半期包括利益	4,683	4,191

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年10月31日開催の取締役会決議に基づき、2025年11月28日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式83,400株の処分を行っております。この結果、当第1四半期連結会計期間において、その他資本剰余金が7,719千円増加し、自己株式が34,397千円減少しました。

当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が646,006千円、自己株式が302,208千円となっております。

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社TUKURU及び株式会社COWAは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当四半期に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当四半期に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	27,676千円	67,024千円
のれんの償却額	6,921	25,495

(注) 2024年10月1日に行われた株式会社TERAZとの企業結合について、暫定的な会計処理を行ってまいりましたが、前連結会計年度に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴う金額の変動はありません。

(企業結合等に関する注記)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2024年11月15日(みなし取得日:2024年12月31日)に取得したワークス・グループとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額2,032,491千円は、会計処理の確定により918,026千円減少して1,114,464千円となり、顧客関連資産が1,381,179千円、繰延税金負債(繰延税金資産の金額を控除した金額)が355,280千円それぞれ増加しております。また、前連結会計年度末の連結貸借対照表は、のれんが877,628千円減少して1,039,370千円となり、顧客関連資産が1,312,120千円、繰延税金負債(繰延税金資産の金額を控除した金額)が374,651千円それぞれ増加しております。なお、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。

(完全子会社2社の吸収合併)

当社は、2025年7月29日開催の取締役会において、2025年10月1日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社TUKURU及び株式会社COWAを吸収合併することを決議し、これに基づき、2025年10月1日付で下記のとおり吸収合併を完了しております。

1. 企業結合の概要

(1) 被結合企業の名称及び事業の内容

被結合企業の名称:株式会社TUKURU 事業の内容:ECサイト運営

被結合企業の名称:株式会社COWA 事業の内容:有価証券の取得、保有及び処分

(2) 企業結合日

2025年10月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、株式会社TUKURU及び株式会社COWAを吸収合併消滅会社とする吸収合併方式であります。

(4) 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

(5) 企業結合の目的

株式会社TUKURUは、主に当社インターネット通販サイト「cotta」の保守及び運營業務を行って参りましたが、経営資源を統合し、組織運営体制の効率化・最適化を図るため、当社が株式会社TUKURUを吸収合併いたしました。

株式会社COWAは株式会社ワークスの全株式を保有する中間持株会社であり、本合併により当社が株式会社ワークスを直接の子会社とすることで、グループ管理の合理化を図ることを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは従来より、菓子・パン資材及び雑貨等の販売事業を主要な事業としており、その他の事業セグメントの重要性が乏しいためセグメント情報の記載を省略しておりましたが、株式会社T E R A Z及びワークス・グループを新たに連結範囲に含めたことに伴い、報告セグメントを「菓子・パン資材及び雑貨等の販売事業」、「人材ソリューション事業」、「美容関連用品等の販売事業」の3区分に変更いたしました。(美容関連用品等の販売事業セグメントは、当四半期においては貸借対照表のみを反映しており、セグメント情報等は作成しておりません。)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	菓子・パン資材 及び雑貨等の 販売事業	人材ソリュー ション事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,707,898	263,255	2,971,153	36,908	3,008,061	—	3,008,061
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,707,898	263,255	2,971,153	36,908	3,008,061	—	3,008,061
セグメント利益	276,693	2,680	279,374	10,352	289,726	△29,659	260,067

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インターネットメディア事業、太陽光機器事業、資格・有料動画事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△29,659千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△29,659千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「人材ソリューション事業」セグメントにおいて、株式会社T E R A Zの発行済株式の66.7%を取得し、連結子会社化しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては131,276千円であります。なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

「美容関連用品等の販売事業」セグメントにおいて、ワークス・グループの持株会社であるG C J G 3 0株式会社の発行済全株式を取得し、連結子会社化しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては2,032,491千円であります。なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	菓子・パン 資材及び 雑貨等の 販売事業	人材ソリューション 事業	美容関連 用品等の 販売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,834,318	326,333	1,146,871	4,307,522	32,747	4,340,270	—	4,340,270
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,834,318	326,333	1,146,871	4,307,522	32,747	4,340,270	—	4,340,270
セグメント利益	310,545	12,187	37,008	359,741	6,548	366,289	△26,397	339,892

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インターネットメディア事業、太陽光機器事業、資格・有料動画事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△26,397千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△26,397千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「美容関連用品等の販売事業」セグメントにおいて、2024年11月15日(みなし取得日:2024年12月31日)に取得したワークス・グループとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間に確定したため取得原価の当初配分額の見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額2,032,491千円は、会計処理の確定により918,026千円減少して1,114,464千円となり、顧客関連資産が1,381,179千円、繰延税金負債(繰延税金資産の金額を控除した金額)が355,280千円それぞれ増加しております。